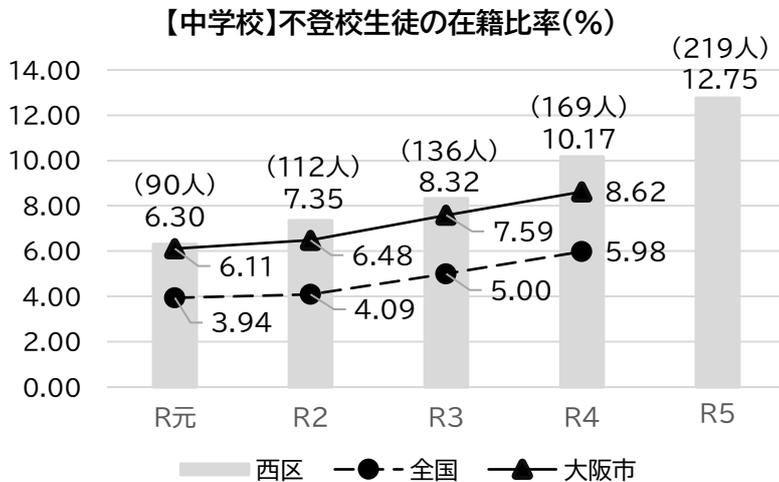


西区における不登校支援事業について

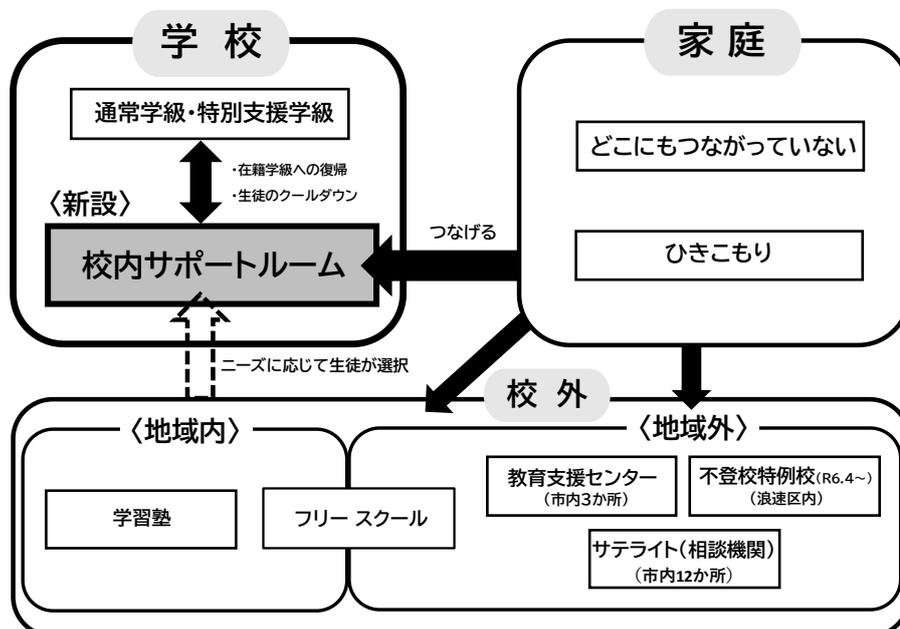
【現状】



- 全 国:令和4年度末時点で 193,936 人(在籍比率 5.98%)
年々増加しており全国的な課題(小学生を合わせると約 30 万人)
- 大阪市:令和4年度 4,430 人(8.62%)
 全国と比較しても在籍者に占める不登校生徒の割合が高い
- 西 区:令和4年度 169 人(10.17%)
大阪市全体の在籍比率より高い状況
 さらに令和5年度末時点では、219 人(12.75%)にまで増加

【令和6年度の具体的な取組み】

1 堀江中学校 校内適応指導教室(サポートルーム)の開設



○令和6年度9月時点における校内サポートルームでの支援状況

- ・ 令和6年4月よりモデル事業として実施
 - ・ 開設日時:火・木曜日 10:00~15:00(テスト、学校行事等は休み)
 - ・ 登録生徒数:現時点 7人 登録生徒の内4~5人が日々利用している
 - ・ 校内サポートルームを利用した生徒は、学習時間が少しずつ伸びてきたり、周りとの関わり方(波長あわせ)が少しできるようになるなど、生徒それぞれに良い変化が起きている。また、これまで教室に入れなかった生徒が、入れるようになる等、当事業の成果がでている。
- ⇒ 今後の検討課題として、学校に来ていない生徒がその存在を知り、利用してもらえるような工夫が必要

2 「保護者を孤立化させない」取組

- ・ 不登校等の保護者を対象とした、「つながりの場」の提供(ワークショップの開催)を行い、保護者同士が情報交換、ネットワークを構築することで、子どもを支える力を後押しする。

〈令和6年度におけるワークショップの開催状況〉

- ・ 令和6年8月24日(土)に第1回目のワークショップを開催
- ・ 当日は8名の参加があり、そのうち保護者は6名、支援者・民生委員が2名(保護者の内、小学生の保護者と中学生の保護者が50%ずつ)
- ・ ワorkshopの参加者満足度は100%の方が満足
- ・ 参加者からは、他の参加者からの体験談や思いをきけたこと、また、同じ思いをしている保護者とつながれるのはありがたい、との声をいただいた。

※次回、令和6年12月14日(土) 午前10時~ 西区役所にて開催

3 地域住民に子ども(不登校)に関する理解促進・普及啓発

- ・ 地域住民に対して、今の子ども達のことを知ってもらい、子育てに必要な情報や、不登校に関することについて専門家による講演会の開催。

〈令和6年度における講演会の開催状況〉

- ・ 令和6年7月15日(土・祝)に子育て講演会を開催
- ・ 当日は42名参加
- ・ ワorkshopの参加者満足度は100%の方が満足
- ・ 参加者からは、子どもとの関わり方全般について、また、子どものスマホ問題についても具体的に話をしてもらって良かったと意見をいただいております、保護者の方の子育てを振り返るきっかけの場となった。



【意見交換事項】不登校ワークショップ、講演会に関して

Q もっと多くの方に、ワークショップや講演会に参加してもらうためには、どのような周知方法(内容)がいいと思いますか？

【現状:周知方法】

・ワークショップ

西区広報紙、西区役所ホームページ、西区長 SNS(Facebook、インスタグラム)、西区役所子育て支援 SNS(Facebook、インスタグラム)、西区役所内にポスター掲示

西区地域振興会・民生委員児童委員の会議において配布

別途学校において、懇談時への配布や学校ホームページへの掲載

→ アンケート「どこで知りましたか？」(回答8名)

学校から配られたチラシ	2名
西区の広報紙	2名
西区子育て支援室からの紹介	2名
その他	2名

・講演会

全児童生徒を通じて保護者あてにチラシを配布

西区広報紙、西区役所ホームページ、西区長 SNS(Facebook、インスタグラム)、西区役所子育て支援 SNS(Facebook、インスタグラム)、西区役所内にポスター掲示

別途学校において、学校ホームページ等への掲載

→ アンケート「どこで知りましたか？」(回答37名)

学校から配られたチラシ	15名
学校のホームページ・ミマモルメ	1名
西区役所のホームページ・SNS	6名
西区の広報紙	6名
その他	9名



【ご意見】